

業界の声



● 山梨県自動車整備商工組合

専務理事 齊木重夫氏

業界の現況はいかがですか？

近年、自動車整備業界の売上高は全国的にみると若干の増加傾向が見られるものの、山梨県内では減少傾向になっています。

これは、山梨県の人口が少子高齢化等を要因に35年ぶりに減少した事が影響しており、今後の事業活動を行う上での不安要素にもなっております。

また、近年、自動車ユーザー自身や国の認証資格を取得しない所謂車検代行業者が実施するユーザー車検の台数が急増しており、平成17年度には全国で300万台を超えるなど、継続検査台数の約1割を占めるにまで増加しています。当県でもほぼ同様な状況の中、整備業界としては整備技術向上による差別化やユーザーの自己管理責任意識の高揚等を積極的に図ることが必要だと考えております。

現在業界として

取り組んでいる事は何ですか？

『業界健全化対策』『安全公害防止対策』『自動車使用者(ユーザー)対策』『整備技術向上対策』及び『自動車検査登録対策』を主な事業として業界適正化のために活動しております。

また、近年、地域の安全と安心の確保が重要視されています。このことに着目し、平成17年から社会貢献活動として「こども110番のお店」事業を実施し、地域社会の一員として、学校保護者、地域住民等と連携しながら安心安全なまちづくりを推進しています。



「こども110番のお店」事業ではてんけん君とせいびちゃんも大活躍